

第95回メーデー 岡山・福山で開催

働くももの団結で生活と権利を守り、 平和と民主主義、中立の日本をめざそう

5月1日、岡山県は岡山市石山公園、福山市は福山城北公園にて第95回メーデーが開催された。岡山県中央メーデーは350名（国労12名）、福山地区統一メーデーは80名（国労4名）が参加した。

岡山県中央メーデー

10時から岡山市石山公園で開催され、主催者を代表して西崎実行委員長（県労会議議長）が「24春闘は、満額回答が相次いでいる。しかし、私たちの暮らしからは、まだまだ足りない。ストライキ実施の声が広がっている。」

衆議院の補選で、立憲が



圧勝した。政治を見るとカネと政治をいつまでも続けるのか。政治を変えなければならぬ。

岸田政権は、敵基地先制攻撃・武器輸出などを決めた。労働組合が先頭に立って、平和と暮らしを守ることに重要だ。」と挨拶した。来賓あいさつでは垣内京美さん（日本共産党）、民主

団体からの発言は、禰屋町子さん（倉敷民商事件）、則武弁護士（生活保護裁判）、小倉博司さん（PEFA問題）そして、労働組合からの発言は、岡山市職労、福保労、高教組が行い、現在の状況、今後の行動についての訴えがありました。その後、メーデー宣言を採択した。

福山地区統一メーデー

5月1日、福山城北公園において「第95回福山地区統一メーデー」が開催された。

主催者を代表して小林実行委員長（福山地区労会議事務局長）が「裏金事件に見られるように、もはや自民党に政権を任すわけにはいかない。戦争国家に突き



進む岸田政権は許されないと挨拶した。

来賓として、広島県労連の中藤議長、広島県労協の池上議長より挨拶を受けた後、参加団体からの訴えとして、国労第三支部の亀高

委員長、福山地区労会議の平本幹事、福山ユニオンたんの報告がされた。武藤委員長は、技能実習制度の問題に触れ、制度の廃止を訴えた。そして、ベトナム・カンボジア・フィリピンから日本に移住している外国人労働者からそれぞれの母国語で「頑張ろう！」の言葉が発せられた。

最後にメーデー宣言を全体で採択し、福山市内をデモ行進して「戦争国家絶対反対！自民党の裏金問題徹底究明！JRは安全を守れ！」などの声を上げた。

地本団結 グランドゴルフ大会

優勝是三宅さん（岡山連合）



地本は5月11日10時30分より、清音ふるさと広場において、「団結グランドゴルフ大会」を家族・OBを含め、20名で開催した。

2ゲームを行い、ホールインワンなどの好プレー・珍プレーがでる中、和気あいあいと、団結と交流を深めていった。

その後、表彰式を行い、優勝は三宅さん（岡山連合）でした。